



琉球大学資料館(風樹館)

風樹館だより



2012(平成24)年5月1日発行 第5号

開かれた大学博物館を目指して

琉球大学では「地域へ開かれた大学」との理念のもと、大学が生産する様々な学術情報を学内外に広く提供しています。琉球大学では、教育や研究活動の支援を目的に、1967年に全国の大学に先駆け大学附属の資料館を設置しました。当館には、学内の研究者が教育や研究活動の一環として、主に琉球列島で収集した10万点あまりの標本や資料が収蔵されています。常設展示室では、イリオモテヤマネコやヤンバルクイナなどの希少生物の剥製標本をはじめ、首里城関連の考古資料、沖縄の伝統工芸資料、古農具や藁算などの民俗資料が展示されています。また、自然観察の場として利用できる「学校ビオトープ見本園」が併設されており、昆虫やメダカなどが観察できるほか、チョウ類の食草や資源植物なども植栽展示しています。

◇ 風樹館ホームページリニューアル！！

1999年に全国の大学博物館に先駆け開設したホームページを13年ぶりにリニューアルしました！これまでも公開していた収蔵資料データベースをさらに充実させ、教育支援プログラムの紹介や標本資料提供など研究・教育の支援事業を図ります。また、新たな試みとしてバーチャル企画展を立ち上げました。これから風樹館の活動や試みを発信していきます！

※ URL が <http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/ja/> から <http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp> に変更されましたので、ブックマークの変更をお願い致します。



トップページ



データベース検索閲覧ページ



利用案内・展示案内※動画



研究教育支援



バーチャル企画展※動画

目次

01: 開かれた大学博物館を目指して

風樹館ホームページリニューアル！

02: 2011(平成23)年度運営実績

収蔵資料目録第7号発行！

03: 2011(平成23)年度新収蔵資料

2012(平成24)年度収蔵資料の整理状況

風樹館コレクション No.5 ヤンバルテナゴコガネ

04: 2011(平成23)年度入館者数

2012(平成24)年度行事予定

2012(平成24)年度運営体制

利用案内



2011（平成23）年度の運営実績

(1) 標本類の貸出・研究利用等

(財)海洋博覧会記念公園管理財団（「琉球の植物多様性」解説パネル）、徳島大学大学院（貝類）、沖縄県水産海洋研究センター（貝類）、神奈川県立生命の星・地球博物館（昆虫類）、NHK 沖縄放送局（昆虫類）、貝類多様性研究所（貝類）など、（合計23件）。

(2) 教員免許更新講座の開設

平成21年度から継続して、「大学博物館で学ぶ沖縄の自然と文化」テーマにした教員免許更新講座を当館で開講している。本講習会を契機に、県内の学校機関による当館の利用が増加している。

(3) 資料館の受託研究・研究助成等

① 環境省（受託研究）；国指定大東諸島鳥獣保護区（南大東島）動物相基礎調査

南大東島のビロウ林を基盤とする昆虫相に関する調査を実施し、国内にほとんど標本が存在しないヒサマツサイカブトムシ（南大東島固有種）を発見し当館に標本を収蔵した。

② (財)海洋博覧会記念公園管理財団（研究助成）；沖縄の蕨算に関する基礎的研究

現存する蕨算資料のデータベース構築に必要な基礎的資料の収集と蕨算の教材化に関する調査研究を実施し、本調査によって宮古島の貴重な蕨算資料を収蔵した。

《収蔵資料目録第7号発行！》

風樹館収蔵資料目録第7号「考古・民俗・美術工芸資料目録」を発行しました。本目録には、2012年3月までに琉球大学資料館に収蔵された考古資料2113点、民俗資料444点、美術工芸資料962点が掲載されています。図版には、金城次郎や濱田庄司、バーナード・リーチなどの県内外の著名な陶芸作家の工芸資料や、旧首里キャンパス内で採集された首里城の大龍柱（阿形）の頭部や日時計の破片などの首里城関連資料、民俗資料では、県内に3隻しか残されていない丸木船や蕨算の復元資料などを掲載しています。

＜既刊について＞

第1号「タイプ標本目録」（2009年）、268点収録
2009年2月までに収蔵したタイプ標本83種2亜種268点を掲載。

第2号「甲殻類標本目録」（2010年）、1042点収録
2009年12月までに収蔵した二枚貝類標本4350点13646個体761種を掲載。

第3号「二枚貝類標本目録」（2010年）、4350点収録
2010年1月までに収蔵した甲殻類標本365種1000点以上を掲載。

第4号「岩石類標本目録」（2010年）、2774点収録
2009年12月までに収蔵した地学資料2774点を掲載。

第5号「哺乳類・鳥類・両生爬虫類標本目録」（2011年）、1101点収録
2011年2月までに収蔵した哺乳類標本132点・鳥類標本86点・爬虫類・両生類標本883点を掲載。

第6号「巻貝標本目録」（2011年）、4856点収録
2011年1月までに収蔵された多板綱・腹足綱・掘足綱・頭足綱標本4856点を掲載。

※ 既刊目録については、当館ホームページでPDFファイルを公開しています。

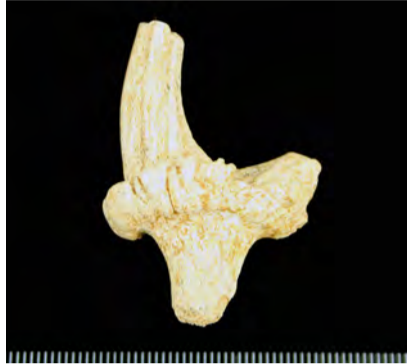


2011（平成23）年度新収蔵資料

琉球列島の化石研究の第一人者である野原朝秀博士（琉球大 学名誉教授）が所有されていた沖縄産化石標本約2万点を本館へ収蔵した。今後、資料の整理とデータベースへの入力を完了させ目録を発刊する。



リュウキュウムカシキョンの当蓋（上クルク原）



リュウキュウムカシキョンの枝角（国吉）



リュウキュウジカの枝角（国吉）



リュウキュウジカの枝角（国吉）

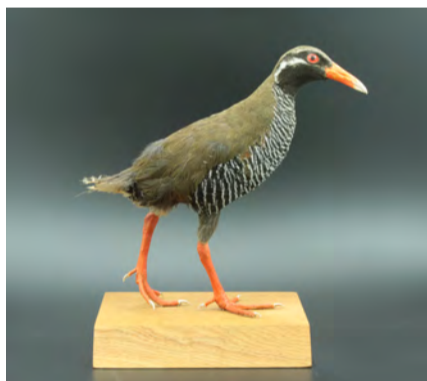
2011（平成23）年度収蔵資料の整理状況

現在、当資料館には沖縄独自の自然と文化を背景にした学術的価値の高い標本を中心に、約10万点あまりが収蔵されています。これらの中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコのタイプ標本や首里城に設置されていた日時計石板などの貴重な標本や資料が多数含まれています。

※平成22年度に農学部昆虫学教室より移管した昆虫標本は、収蔵庫対数が不明のため最小点数として4万点としている（微少な個体を含めると10万点を越える可能性もある）。

琉球列島の昆虫類の研究において極めて貴重なコレクションであるため、今後重点的に整理を進め、順次データベースへの登録を行う予定である。

標本種別	収蔵点数	整理済点数	完了割合
自然系標本総数	99,291	32,323	33%
哺乳類	132	132	100%
鳥類	86	86	100%
両生爬虫類	883	883	100%
魚類	6	6	100%
棘皮動物	200	3	2%
昆虫類	52600	11705	22%
クモ形類	700	557	80%
甲殻類	699	699	100%
環形動物	4	4	100%
貝類	9206	9206	100%
扁形動物	1	1	100%
刺胞動物	4,000	3848	96%
植物・菌類	8,000	2319	29%
岩石・土壌	2774	2774	100%
化石	20000	100	1%
文化系資料総数	4,529	3,529	78%
考古資料	2,113	2,113	100%
民俗資料	444	444	100%
地理資料	10	10	100%
美術工芸資料	962	962	100%
文献資料	1,000	0	0%
総標本数	103,820	35,852	35%



ヤンバルクイナ剥製標本



張子玩具（チンチンウマガワァー）

◇ 風樹館コレクション No.5 【ヤンバルテナゴガネ】

※当館には、生物に学名を与える（種の記載）際に用いられたタイプ標本や学術上重要な資料が多数収蔵されています。

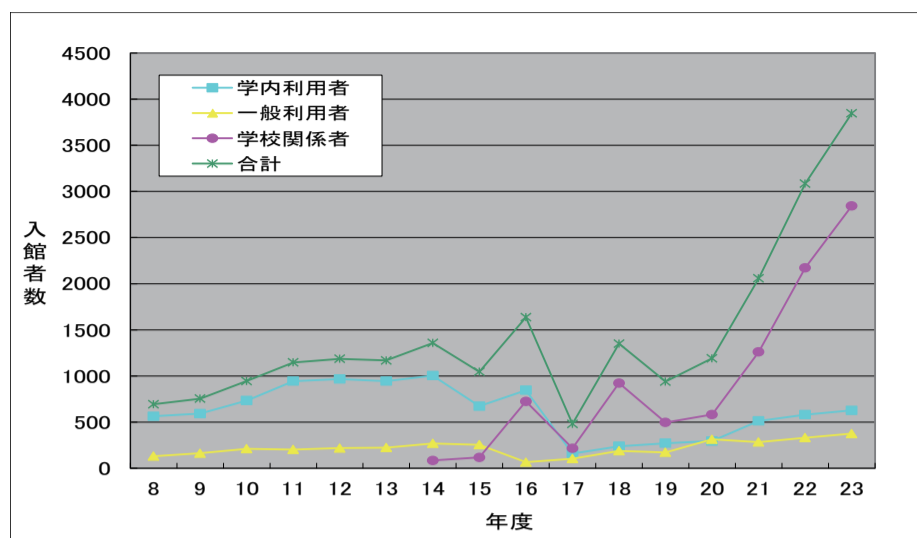
1983年に発見された沖縄島の固有種で、通称、山原（ヤンバル）と呼ばれる沖縄島北部の自然林にだけ生息する。本種の存在については、以前に前翅の一部が見つかっておりその生息が確実視されていたが、樹洞という特殊な環境に生息するため、長い間採集されることはなかった。ヤンバルテナゴガネの発見以来、多くの昆虫愛好家が奄美諸島や八重山諸島でテナゴガネの探索を行ったが、山原以外では発見されていない。幼虫は、イタジイなどの幹に開いた樹洞の中で腐植を食べて成長し、雌成虫は羽化した後も樹洞から出ることはほとんどない。系統的には、地理的に最も近い台湾のタイワンテナゴガネよりも、中国大陸に分布するキベリテナゴガネに近縁であるといわれている。



2011（平成 23）年度入館者数

2011（平成 23）年度入館者総数は、3,846 人でした。
内訳は、学内学生 627 人、県内学生 1,711 人、県内一般 261 人、
県外学生 1,132 人、県外一般 89 人、国外 26 人です。県内学生
については小学校等の社会科見学や総合学習、理科の授業等の
団体利用が多く、また県外学生については、他府県からの修学
旅行生が年々増加しています。

※ ただし、入館無料のため来観名簿への記入者が少なく、実際の入館
者数はさらに多いと思われます。



2012（平成 24）年度行事予定

◇ 企画展等の開催

- ・企画展「昆虫標本をつくってみよう！」（平成 24 年 7 月 25 日～8 月 25 日）
昆虫標本の学術的な重要性を知るとともに、地域の生物や自然環境への関心を高めることを目的に展示と標本作製の
講習会を実施する。
- ・特別展「沖縄の草花玩具で遊ぼう！」（平成 24 年 11 月 1 日～11 月 25 日）
沖縄の伝統的な草花玩具の普及と作成方法の継承を目的に、草花玩具類の展示と作成方法のワークショップを実施する。

◇ 教育支援・地域連携事業

- ・夏休み子ども自由研究 in 沖縄コンベンションセンター 2012「昆虫館」
（平成 24 年 7 月 28 日（土）～29 日（日）10：00～18：00）
昆虫をテーマにした学習教材開発における実践的研究の一環として、出張昆虫館を出展し、各種ワークショップを
実施する。
（世界・日本・沖縄の昆虫標本及び生体展示／昆虫標本作成教室／草玩具工作／パネル展示とオリジナルワークシート
を使用しての学習コーナー等）

2012（平成 24）年度運営体制

各学部の代表者（教授）1 名からなる、琉球大学資料館（風樹館）運営委員会を設置し、以下の体制のもとに運営を行う。

- 館長（農学部教授兼任）：諸見里 善一
- 学芸員（常勤）：佐々木 健志
- 事務補佐員（非常勤）：秋庭 美由紀
- 学生ボランティア（随時）

- 運営委員：池田 榮史 * 学芸員（法文学部・准教授）、松本 晶子（観光産業科学部・
教授）、田吹 亮一（教育学部・教授）、新城 竜一（理学部・教授）、當間 孝子（医学部・
教授）、野口 隆（工学部・教授）、田場 聡（農学部・准教授）

◇ 利用案内

開館時間：午前 10 時～午後 5 時
休館日：土・日・祝日・12 月 28 日～1 月 4 日
* その他、臨時に休館する場合があります。
入館料：無料
住所：沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
Tel./Fax：098-895-8841
E-mail：fujukan@agr.u-ryukyu.ac.jp
URL：http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp

公共交通機関：
那覇バスターミナルから 97
番か 98 番で「琉球大学北口」
下車（所要時間約 1 時間）那
覇空港からは高速バスで「琉
球大学北口」下車（所要時
間 34 分）。
資料館（風樹館）まで徒歩 6
～10 分。

